

平成17年11月07日

土木学会鋼構造委員会 小委員会活動報告

小委員会名 (分科会名)	道路橋床版の合理化検討小委員会	委員長 (分科会長)	日野伸一	連絡幹事	佐々木保隆
活動予定期間	平成17年4月 ～ 平成20年3月				
活動の目的	平成13年度から3年間活動した「道路橋床版の調査研究小委員会」で得られた成果を踏まえ、①コンクリート系床版の疲労耐久性評価手法の構築、②各種床版の性能照査型設計法とその設計例の構築、③合成床版を含むコンクリート系床版の合理化構造および維持管理手法の検討、④鋼床版の疲労耐久性の向上と維持管理手法の検討、⑤日本最古の合成床版を有する道路橋（明治橋）の保存方法の検討、などについて調査研究を行うことを目的とする。活動期間は平成17年4月から3年とする。				
これまでの活動状況	1) 第1回小委員会 日時：平成17年4月26日 場所：大阪大学、住友金属工業 内容：輪荷重走行試験見学、委員紹介、各分科会の活動計画 2) 第2回小委員会 日時：平成17年9月8日 場所：早稲田大学 内容：各分科会の活動報告				
今後の活動計画と目標とする成果	1) 第3回小委員会 日時：平成17年12月中旬ごろ 場所：土木学会を予定 内容：各分科会の活動報告、第五回道路橋床版シンポジウムの計画 2) 第五回道路橋床版シンポジウム 日時：平成18年7月27日・28日 場所：大阪大学吹田キャンパス コンベンションセンター				
その他	メンバー：76名				